

9月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[平成30年9月末現在]

平成30年10月11日
茨城県中小企業団体中央会

台風や北海道地震による卸売価格の上昇や台風による客足減少等により非製造業の数値が悪化したため、全体の数値を押し下げた。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「収益状況」は改善したが、「景況」「売上高」は悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「売上高」「収益状況」は改善したが、「景況」は変化がなかった。非製造業では、「売上高」「収益状況」「景況」はすべて悪化した。

景況DI

製造業は、前月比で変化なしの-3.8ポイント、非製造業は、前月比12.5ポイント悪化の-20.8ポイント、全体では、前月比6.0ポイント悪化の-12.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比7.7ポイント改善の-15.4ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の8.3ポイント、全体では、前月比8.0ポイント悪化の-16.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比11.6ポイント改善の-11.5ポイント、非製造業は、前月比5.0ポイント悪化の-25.0ポイント、全体では、前月比2.0ポイント改善の-18.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
平成30年9月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	8月は夏休みで学校給食も休止したため加工賃収入がなく、毎年この時期は資金繰りに苦労している組合員が多い。そのため、短期借入等の利用や資産等の取り崩しを行い対応している。
	餡	
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県の課税移出数量は、6月・7月は前年同月比95～96%台と落ち込みが続いていたが、8月は県南地区の中心蔵元が大口受注（吟醸酒）を得て県内全体の課税移出数量を前年同月比103.3%まで押し上げた。全国平均は94.8%と落ち込みが続いているが当県全体の底上げに期待したい。焼酎における8月の課税移出数量は、96.8%と低調に推移した。また、8月の輸出免税数量は前年同月比105.9%と増加傾向にある。7月は西日本豪雨による出荷調整も短期的であり、輸出全体の伸びは堅調である。 ○県内当業界について 当組合は、9月28日（金）の東京浅草「屋形船で大宴会」イベントとして、141名の参加者により3艘の屋形船で、茨城の酒（大吟醸クラス）と茨城の食材による天ぷら等を堪能いただいた。非常に評判は良く大盛會に終了できた。また、10月1日には全国一斉日本酒で乾杯を開催し、メイン会場の水戸京成ホテルにおいては、茨城県をはじめとし乾杯条例施行自治体9市の首長が出席。その自治体の観光PR等を実施し、非常に盛り上がったイベントとなった。乾杯映像をマスコミ等を通じて効果的に発信できた。
	納豆	健康食ブームにより、納豆の消費が伸びているが、人手不足により増産ができない企業が多い。原油・資材・人件費等の高騰により先行きが不透明である。
	菓子	人手不足により十分な仕事量ができない企業もある。
繊維工業	織物	
	袋物	各社とも大きな動きはなかった。秋・冬物に期待したい。
	衣服	
木材・木製品	製材	9月に入り秋の需要を迎えたが目立った動きもなく、木材・建材ルートは低調なまま推移した。プレカット工場は、ハウスメーカー中心の稼働である。地場工務店の仕事量が少なかったため、期待されていた消費税増税を見越した駆け込み需要は見られなかった。市況は全体的に保合で推移した。
	県北地区プレカット	9月中旬は物件が乏しく不安だったが、9月下旬ごろから受注が増加し、10月下旬まで関連の受注により予定が入っている状況である。一般（個人）物件のほかに、公共施設（町営住宅）が入ってきたことが影響している。 例年通り年末まで忙しくなることを期待している。 資材関係では、西日本豪雨の影響を受け、木材の入荷が悪くなっているようである。
	県央地区プレカット	9月下旬は大型物件の加工があり繁忙となったが、全体としては動きが鈍く低調な状況。また、人手不足が続いており、各個人への負担が大きくなっているため、早急な労働環境の改善が必要である。
紙・紙加工品	段ボール	原材料メーカーが値上げを発表したため、今後が不安である。
印刷	総合	
化学・ゴム	自動車部品	
窯業・土石製品	石材	
	コンクリート製品	
	焼物	笠間焼産地業界では、海外への販路を求めて動いている事業者が増加している。行政や関連機関などの協力・支援を受けながら、海外展開の流れを強化したいと考えている。
	生コンクリート	
鉄鋼・金属	鍍金	売上は全体で前年並みであった。 受注量については、8月後半から9月にかけて多少動きが出てきた。 材料価格については、亜鉛・金属が少し値上がりしたが、他の金属（銅・ニッケル・貴金属等）・工業製品の価格はともに大きな変動は無い。 ガソリン・燃料費は高値の水準であった。
	鑄造	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	一般機器	精密機器	
	工業団地	対象7組合員（製造会社）の9月の売上状況は、前年同月比ですべて増加となり、全体増減率は105%であった。 得意先の団地外の協力企業では、大型台風の影響による被害もあったが、得意先の増産意欲が強かったため復旧が早く、各組合員の売上は前年を上回ることができた。従業員の確保が相変わらず難しいなか、エンジン部品関連の組合員は繁忙感が強かった。	
		電気機器	重電
	輸送機器	自動車部品	生産高は全体的に横ばいであるが、例年と比較すれば相対的にやや良好。 販売価格については、取引先からの値下げ要請等によりやや厳しくなっている。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱扱高は、前年同月比で3.7%の減少となった。 台風や北海道地震の影響により物流網が途絶え、鮮魚等の入荷が減少し高値で推移したため、売上も減少した。 月末にかけては、北海道・三陸からサンマ等の入荷が増加し、今後を期待している。
		県南地区卸	組合員の1社が倉庫手狭のため営業所を移設した。 また、空倉庫・土地の買取により10月下旬ごろより営業を開始し、組合員となる事業者がいる。
		食品卸売業	9月は、野菜・果実合計で前年同月比98.5%の取扱高となった。 野菜に関しては、北海道産のじゃがいも・玉ねぎ・ニンジンが天候不順と地震の影響により、相場が上昇した。 また、天候不順は関東産の果菜類（きゅうり、トマトなど）にも影響を与え、野菜全体で前年同月と比べて数量減・単価高となっている。
		セメント卸	袋セメントの出荷数は、前年同月比23%の減少。 建設工事の減少により、大幅減少となった。
	小売業	県北地区共同店舗	前年同月比で売上は103.1%、客数は147.5%となった。前年に行わなかった売出しセール開催により、売上が上昇した。また、集客力のある100円均一の出店により、客数が増加した。 既存の店舗の努力に期待している。
		県央地区共同店舗	大型衣料店が退店し、衣料品は大変厳しかった。 一方、食品は2桁増となり、全体では前年同月比100%を維持した。
		県南地区共同店舗	前半の高い気温や台風の影響もあり、婦人服の売上が前年同月比84.5%と大変厳しい状況であった。 9月の3連休は2回とも天候不順により客数が少なかった。 業種別の売上は、前年同月比で衣料が87.8%、文化品95.5%、食料品98.8%、飲食99.5%、サービス100.5%となった。
		クレジット	
		クレジット	
		家電	エアコンについては、古くなり買い替える事業所が多かったことや学校関係の入札が重なり、前月に引き続き売上が好調だった。そのほか、台風の影響でアンテナ工事も好調であり、前年同月の売上を大幅に上回った。
石油		原油価格が高値で推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で20円上昇している。 省エネ車の普及により需要は減少しており、経営環境は厳しい状況が続いている。	
農機具			
中古自動車	9月の車両販売価格（台当たり）は前年同月比108.5%、販売台数は110.7%、平均単価は98.0%となった。販売台数・販売価格に大きな変動は無かった。		
商店街	水戸		
	筑西	台風が続き来客数が減少した。	
建設業	総合	人手不足と技術者不足がより一層深刻になり、各社危機感を持っている。	
	電気工事		
	管工事		
	交通安全施設		
	鉄筋工事業		
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は、前年同月比で普通車が82.3%、軽自動車が87.8%となり、ともに減少となった。	
	ホテル・旅館	9月は昨年度と比べて3連休が1週多かったこともあり、総体的には売上高・収益状況ともに微増であったが、変わらずエリア格差は顕著に見られる。 県央・県西・県南エリアでは、アニメツーリズムやスポーツ大会、学術集会等が集客増の要因となっているが、県北臨海エリアにおいては、イベントを開催してもなかなか集客につながらないのが現状である。	

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

平成30年9月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	9月の当組合の組合員数は117名、車輛台数は150台で8月と比較して増減がなかった。 また、全国連合会での9月の組合員数は8,214名、車輛台数は9,711台で8月と比較して18名減少、25台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向については、期末で物流増となり売上高は若干上がっている。しかし、燃料価格が不安定で上昇傾向にあり、収益は厳しい状況である。
	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	日本酒業界の全国乾杯条例の広がりの中で、10月1日「日本酒の日」の周知活動にご協力いただきたい。
	パン	パン給食回数増加要請
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止

月次景況調査 9月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比
景 況	▲ 12.0	▲ 6.0	▲ 6.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5
売 上 高	▲ 16.0	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 15.4	▲ 23.1	7.7	▲ 16.7	8.3	▲ 25.0
収 益 状 況	▲ 18.0	▲ 20.0	2.0	▲ 11.5	▲ 23.1	11.6	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 5.0
販 売 価 格	8.0	12.0	▲ 4.0	7.7	15.4	▲ 7.7	8.3	8.3	0.0
取 引 条 件	▲ 4.0	▲ 8.0	4.0	▲ 3.8	▲ 7.7	3.9	▲ 4.2	▲ 8.3	4.1

中小企業月次景況調査(平成30年9月)DI値(前年同月比)

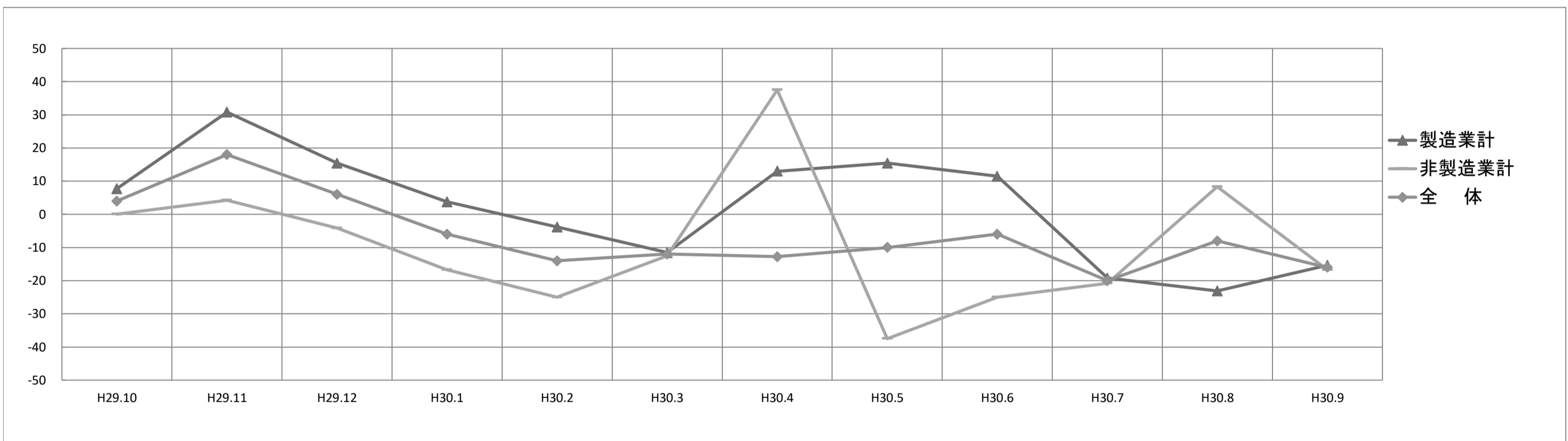
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	16.7	3	1	2	6	△ 33.3	0	4	2	6	33.3	2	4	0	6	0.0	0	6	0	6	16.7	1	5	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	33.3	2	4	0	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	一般機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
製造業計	△ 15.4	4	14	8	26	△ 23.1	0	20	6	26	7.7	4	20	2	26	△ 3.8	0	25	1	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 7.7	0	24	2	26	△ 3.8	2	21	3	26	△ 7.7	2	20	4	26	△ 3.8	3	19	4	26	
非製造業	卸売業	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4	50.0	2	2	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4					
	小売業 (商店街含む)	△ 18.2	3	3	5	11	9.1	1	10	0	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 27.3	0	8	3	11
	サービス業	0.0	1	0	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	
	運輸業	50.0	1	1	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	
	非製造業計	△ 16.7	5	10	9	24	0.0	1	13	1	15	8.3	4	18	2	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 25.0	1	16	7	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 20.8	1	17	6	24					
全体	△ 16.0	9	24	17	50	△ 14.6	1	33	7	41	8.0	8	38	4	50	△ 4.0	0	48	2	50	△ 18.0	2	37	11	50	△ 10.0	0	45	5	50	△ 3.8	2	21	3	26	△ 6.0	2	43	5	50	△ 12.0	4	36	10	50	

D I 値推移表 (H29.10月 ~ H30.9月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
食料品製造業	0.0	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	16.7
製造業(食料品製造業以外)	10.0	35.0	20.0	10.0	0.0	▲ 15.0	11.8	20.0	10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 25.0
製造業計	7.7	30.8	15.4	3.8	▲ 3.8	▲ 11.5	13.0	15.4	11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4
卸売業	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 75.0	0.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	18.2	9.1	18.2	9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	45.5	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	18.2	▲ 18.2
サービス業	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	0.0	0.0
建設業	0.0	20.0	▲ 40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
非製造業計	0.0	4.2	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 20.8	8.3	▲ 16.7
全体	4.0	18.0	6.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 12.8	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 16.0

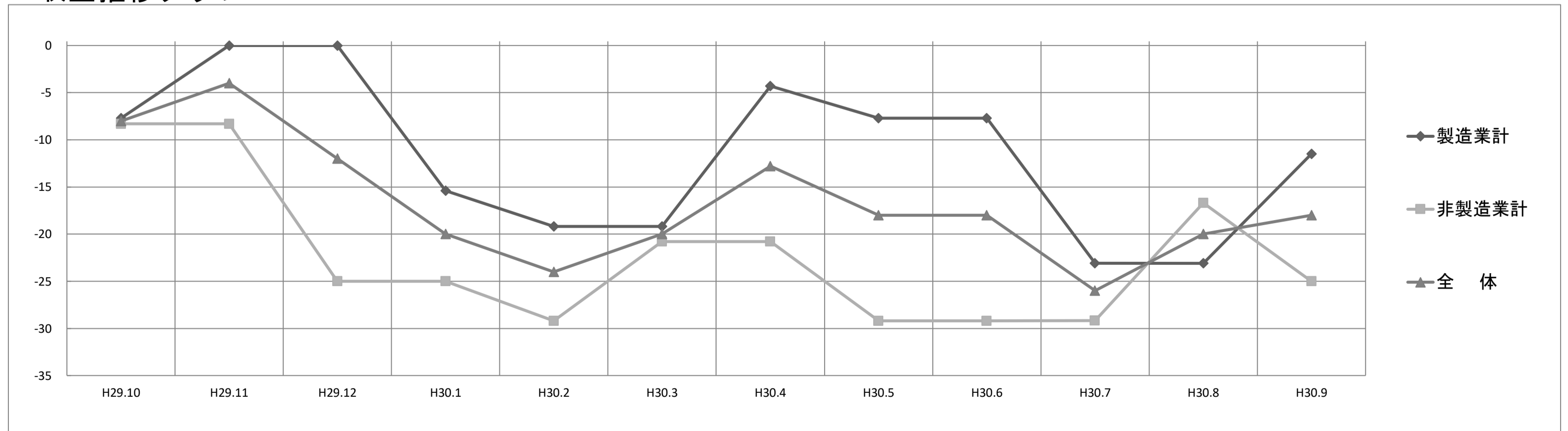
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
食料品製造業	0.0	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 11.5
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 45.5
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 16.7	▲ 25.0
全体	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 18.0	▲ 18.0	▲ 26.0	▲ 20.0	▲ 18.0

《収益推移グラフ》

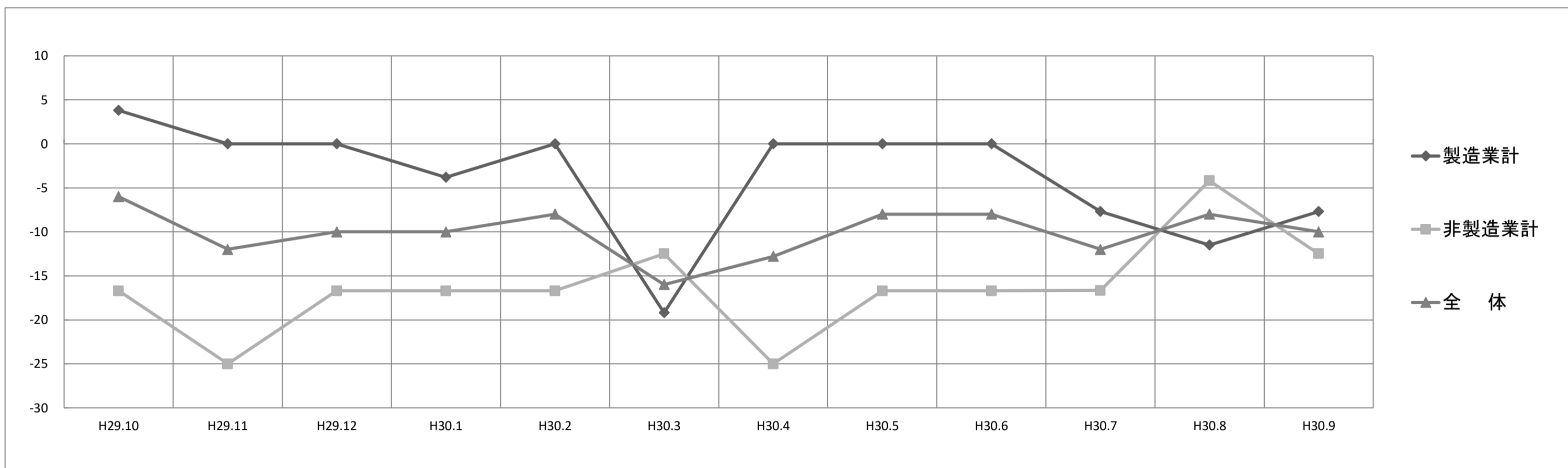


D I 値推移表 (H29.10月 ~ H30.9月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
食料品製造業	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	0.0	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0
製造業計	3.8	0.0	0.0	▲ 3.8	0.0	▲ 19.2	0.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	0.0	▲ 18.2
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 12.5
全体	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 10.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
食料品製造業	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	▲ 16.7	16.7	33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5.9	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 15.0
製造業計	▲ 7.7	0.0	▲ 3.8	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 7.7	4.3	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 3.8	▲ 3.8
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3
サービス業	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 20.8
全体	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 8.5	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 6.0	▲ 12.0

《景況推移グラフ》

